

編 集 後 記

穏やかな日差しに淡路島にも春の訪れを感じております。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度は57年ぶりに東京にてオリンピック・パラリンピックが開催されました。1年間の期間延期や無観客ではありましたが、日本人選手団の素晴らしい活躍に私たちは大きな感動を覚えました。昨年度からの新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大により、日々の暮らしはもちろんのこと、大学での教育、研究においても様々な制約のもとでの活動となっております。このような中、関西看護医療大学紀要の第14巻第1号を発刊する事ができました。本号では、オンコロジーエマージェンシーへの看護師の対応についての考察と、本学でのカウンセリング室の活動報告が掲載されております。コロナ禍により、改めて人との係わり方を考え直す際、看護師の対応やカウンセリング室での学生への支援はますます重要になると考えます。

投稿いただきました皆様に心から感謝いたします。また、査読をお引き受けいただき、丁寧なご意見をくださいました本学教員に心より御礼申し上げます。

本巻（第14巻）より機関リポジトリのみの公開となり、冊子体の発行を中止いたしました。紀要編集委員会では、今後も多くの研究成果の報告が掲載できるよう努めてまいります。

2022年3月吉日 紀要編集委員 神谷映里

紀 要 編 集 委 員 会

委 員 長	下舞紀美代（関西看護医療大学 成人・老年看護学）
委 員	神谷 映里（関西看護医療大学 母性看護・助産学）
委 員	小笠原百恵（関西看護医療大学 母性看護・助産学）
委 員	太田 智美（関西看護医療大学 基礎看護学）
事務局担当	裕 裕美子（関西看護医療大学 学務課図書係）

発 行	関西看護医療大学
印 刷	後藤印刷所